

研究に関するご協力のお願い

福島県立医科大学産科婦人科学講座では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。本学における診療情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2026年 4月

福島県立医科大学医学部産科婦人科学講座 藤森 敬也

■ 研究課題名

帝王切開術式と周産期アウトカムの関連に関する後方視的観察研究

■ 研究期間

2026年4月 ～ 2028年3月

■ 研究の目的・意義

帝王切開術は、母体や胎児の状態の変化に応じて、母体の腹部および子宮を切開することによって胎児を取り出す方法です。帝王切開術は分娩の停止などの際に、母体・胎児の安全を守るために行われます。帝王切開術は経膈分娩と比較して、出血量や母体感染、深部静脈血栓症をはじめとする合併症が多くなる可能性が報告されていますが、より安全な帝王切開術を行うために、具体的にどのような工夫を凝らすべきか、まだ不明な点も多いのが現状です。そこで、本研究では、母体の背景や帝王切開術が必要な状態の違いを考慮しながら、皮膚切開法をはじめとする帝王切開術の術式の工夫の違いが、母児の健康にどのように影響しうるかを調べることを目的としております。母体の背景や帝王切開術が必要な状態の違いに応じて、必要な帝王切開術の工夫が明らかになることで、より安全な帝王切開術を提供でき、よりよい母児の健康を守ることが可能になると考えております。

■ 研究対象となる方

2015年4月から2026年1月までに当院で帝王切開術を行われた18歳以上の患者さまが対象です。

■ 研究の方法

対象となる方の診療情報から年齢、BMI、帝王切開術を必要とした状態、帝王切開を行った時の母体と胎児・新生児の情報に関する項目についてデータを収集します。帝王切開術を必要とした

状態の違いに着目し、帝王切開術の方法の違いと帝王切開後の母体や新生児の状態との関連を調べます。

■ 試料・情報の利用を開始する予定日

2026年4月1日

■ 研究組織

この研究の研究事務局は福島県立医科大学産科婦人科学講座であり、研究責任者は産科婦人科学講座 藤森敬也です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長 竹之下誠一であり、それらの情報は福島県立医科大学産科婦人科学講座で利用し解析を行います。

■ 他の機関などへの試料・情報の提供について

該当しません。

■ この研究に関する問い合わせ

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、試料・情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取り消すことは困難な場合もあります。

問い合わせ先

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地

公立大学法人福島県立医科大学医学部産科婦人科学講座 担当：村田強志

電話：024-547-1290 e-mail：tuyoshim@fmu.ac.jp